



園だより

文京区立第一幼稚園
令和6年1月号

URL <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/dai1-kg/>

新しい年に

園長 田村 秀子

新年 おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいいたします。日本中で穏やかな、よいお正月を迎えられたのではないかと思っていたら、元日に大変なことが起こりました。能登半島地震では山や家屋が崩れ、津波が起こって大勢の方が亡くなりました。被災された方々への支援もまだ行き届いていない状況です。早く道路が使えるようになり、必要な支援が届くようにと祈ります。

また2日には羽田空港で飛行機の事故が起きました。自分があの飛行機に乗っていたらどう行動したろうかと考えます。急な事故にも落ち着いて最善の方法を探り、助け合って行動した乗員・乗客の皆様の姿に学ぶことがたくさんあります。また被災地へ支援に向かう途中の方々が命を落とされ心が痛みます。亡くなられた方々や被災された方々、そのご家族にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、幼稚園では4日から預かり保育の子供たちの元気な声が響き始めました。ニコニコと登園する姿や「幼稚園まだ？ってずっと言っていました」という保護者の話から、園を楽しみにしていたことが分かり、嬉しく思いました。そして今日から3学期が始まり、「あけましておめでとうございます。ことしもよろしくおねがいします」と元気な挨拶を聞いて嬉しくなりました。子供たちの元気な声や笑顔が私たちに勇気づけてくれますね。どんな時も子供たちの笑顔を守っていきたいと思います。

さて、今年は辰年です。「辰」は十二支の中で唯一、実在しない神話上の動物で、「龍」や「竜」とも表記されます。「登り竜」という言葉もあるように、力強い竜が空を登っていくように、皆が力強く歩み、活気あふれる年になってほしいです。竜も一匹でなく、一緒に飛んでいる仲間がいると心強く、勇気や知恵が湧いてくるのではないのでしょうか？

これからの時代を生きる子供たちには夢をもって、大空を駆け巡るように伸び伸びと動いてほしい、様々な出会いを通して豊かに感じ、学んでいってほしいと思います。そして仲間をつくる力、つながって一緒に楽しむ力をつけてほしいと思います。幼稚園はそのような生きる力を育む場所であると共に、ちょっと疲れた時、悩んだ時には分かってくれる人がいて、ゆっくり過ごし、心を癒せる場所でありたいと思っています。また保護者の方々にも、安心できる場所や子育ての楽しさが広がる場所でありたいと思いますので、今年も気になることがありましたらいつでもご相談ください。

昨年末にいただいた音楽会の感想の中に、「子供たちが皆で楽器の鳴らし方を相談し、創り上げてきた音楽を本当に楽しそうに演奏していた」「いろいろな楽器で遊んだことを毎日教えてくれていて、楽しんでいることがよく分かった」「恥ずかしがると思っていたのに、大きな声で自信たっぷりに歌ったり演奏したりしていて感動した」などたくさんの感想をいただきました。子供たちの成長をしっかりと捉え、認めてくださったことが、皆の成長につながっていくと思います。今年も子供たちの主体性を引き出し、可能性を伸ばす保育を心がけてまいります。3学期も冬其自然や地域の方との交流など、様々な出会いを通して感動が広がり、自分たちの遊びに生かしていく姿が楽しみです。